



WIRE AND CABLE

鉱山で使用する電源/信号ケーブルの試験

ULのメルビル事業所(米ニューヨーク州)は、ワイヤ・ケーブルにおけるULの中心拠点(Center of Excellence)であり、鉱山用ケーブルに対し、MSHA(米国鉱山安全保険管理局)に準じた燃焼試験の提供を開始しました。

MSHAの仕様に準じてケーブルを評価する必要があるが、試験設備が十分整備されておらず、お困りではありませんか？ ULがお手伝いいたします。

ULはこの度、MSHA(鉱山安全保健管理局)の評価を受け、CFR(米国連邦規則集) Title 30, Part 7に準じた試験を実施する第三者試験所として認められました。

- ・ 7.407: 電気ケーブルおよびケーブル接続の難燃性に関する試験
- ・ 7.408: 信号ケーブルの難燃性に関する試験

本試験は、カナダ向けポータブル電源ケーブルの認証取得時に必要なFT5試験と大変よく似ています。

ULの製品カテゴリー(CCN-QPMU)に分類されるポータブル電源ケーブルは、主に鉱山で使用されるものを対象としています。鉱山内の電動機器に使用されるケーブルに加えて、通信ケーブル(CCN-DUZX)、電力制限回路用ケーブル(CCN-QPTZ)、光ファイバケーブル(CCN-QAYK)などの信号ケーブルも評価を受ける必要があります。これらの種類のケーブルを鉱山で使用するには、MSHAの承認を受けなくてはなりません。MSHAは、承認ナンバーを付与しますが、必要な認証試験を実施する試験施設は有していません。ULは、認可された第三者試験所として、製造者の方々に代わってこの試験を実施することができます。

この燃焼試験は、内部の青い炎の部分が3インチでかつ全体の高さが5インチのブンゼンバーナーの炎を使って行う水平燃焼試験です。サンプル片を60秒間炎に曝した後、取り除きますが、その後、240秒を超えて燃え続けてはいけません。そして、焼け焦げた部分(Charred area)は6インチを超えてはいけません。電源ケーブルの場合は、炎に曝す前に、5倍の定格電流を温度が400°Fに達するまで流します。

本サービスご利用のメリット

- ・ 信用あるULの試験による承認取得
- ・ ULのエキスパート試験技術者と設備の活用
- ・ 迅速な試験レポートの入手
- ・ ワンストップサービスのご利用により、その他の国/地域の試験・認証もまとめて取得可能
- ・ 試験設備を整備・維持する費用が不要



問い合わせ先

株式会社UL Japan カスタマーサービス E-mail: customerservice.jp@jp.ul.com
本社 T: 0596-24-6735 東京本社 T: 03-5293-6200 F: 03-5293-6201

ul.com/jp